

下水道分野における地球温暖化対策の動向について、月島機械の取り組み

福 沢 義 之
Yoshiyuki Fukuzawa

月島機械株式会社

当社は、長年「汚泥処理技術」を得意分野として、下水道事業に携わってきました。

近年、その下水汚泥が「再生可能エネルギー（バイオマス）」と定義づけられたことから、この下水汚泥を有効利用することで地球温暖化防止の対策に繋がることの社会的な要請が顕在化し、当社はこれに応える技術開発を進めて参りました。

また、この社会的要請に応じていくためには、「エネルギー安定供給と地球温暖化防止」といったトレードオフの関係にある2つ課題に関して、それに関わりのある利害関係者間の合意形成が可能な解決策を提示する必要があります。

そのような認識のもとで開発された下水汚泥燃料化技術は、産業廃棄物である下水汚泥を固形物燃料（有価物）として流通させる事業を念頭においたものであ

プロフィール



1990年4月 月島機械入社
2005年7月 研究開発部 部長
2006年4月 水環境事業本部ソリューション技術部 部長
2013年4月 執行役員
2014年4月 水環境事業本部 新事業推進部 部長兼担当
2015年4月 研究開発本部 研究開発部 部長 兼担当（兼務）
2016年4月 管理本部 経営企画部 副担当（兼務）

り、汚泥排出先である下水道事業者と燃料ユーザである電力事業者の双方のニーズに応える「創エネ技術」として市場の注目を集め、実績を重ねています。

このように環境的側面に注目が当たる一方で、各自自治体の財政が逼迫する状況において、当たり前のことではありますが、あくまでも経済的価値との両立が求めていると認識しており、今までよりも更に「経済的価値」の創造に重点をおいた技術開発や事業提案が重要であると考えています。そのような現状認識のもとで「民設民営型 FIT 事業」も発想されることになりました。

当社は、今後も「地球温暖化防止」に資する技術開発を進めて、下水道事業の発展に貢献していきたいと考えています。